

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	どんぐり 交野店		
○保護者評価実施期間		2025年 3月 15日	～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間		2025年 3月 20日	～ 2025年3 月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の発達段階に合わせた個別支援計画書の作成・実施	児童と児童との関りを大切にしている。 トラブルになることがあっても、自分たちで解決できるように 介入の仕方を工夫している	多様なプログラムの提供
2	各家庭、保護者との面談を重視し連携に努めている	地域の公園へ出向くなど、地域の子どもと交流する機会を設けている	災害時の対応を充実させる
3	経験豊富なスタッフが在籍し、子どもに寄り添い、ともに成長を喜ぶ姿勢		地域資源を活用するために情報収集

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リハビリ専門職が不在な為、保護者からのニーズに合わせた支援を提供することが難しい	保護者・利用児童、それぞれのニーズに合わせたプログラムを設定し実施することが難しい	外部（学校・保育園・関係機関）との連携の強化
2	専門スタッフの配置に限りがある		他機関との勉強会の参加など、外への発信を増やしていくたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス どんぐり 交野店
------	---------------------

公表日 2025年5月7日

利用児童数 23

回収数 22

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	8			相談の時に訪れたが、よく分からない。	来所時に、ゆっくりと施設内を見ていただけるようにします
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		4	その日のスタッフ数や名前、顔などは分からない。	適切な人員配置で、安心してご利用いただけるようにお伝えします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		5	階段が急なのでバリアフリーかどうか分からない。	1階の施設入口から2階のフロアまでバリアフリー化されていないので危険個所に注意します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		5	実際に見たことがないから分からない。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	3		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8		3	11		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			1		
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	2	5		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	20	1		1	悪いことをした時もちゃんと伝えてくれ、ダメなときはダメとちゃんと叱ってくれて嬉しいです。	帰宅の際に、お伝えするように心がけています。お会いできない場合はlineで報告させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		1		日ごろから親身になってありがとうございます。悩みがあるとすぐ私は話しますが、一緒に悩み、考えてくれるのですごく助かっています。	いつでも気軽に相談できる窓口であります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11		5	6		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	7		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22				安心感を持ちすぎて、子どもにとって一番大切な場所のようです。	とても嬉しいです。 今後も、安心安全な場所を維持できるよう努力します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22				先生たちのことが大好きで、友達のように仲良く話してくれ、先生のことどんぐりのことが好きなんだとすごく分かります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	どんぐり交野店	公表日 2025年5月7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		その日の利用メンバーによって、使用する施設を考慮している。	利用者が多い時はスペースが狭いようなきがする。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者の理由で利用人数が減っても、職員配置を維持している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているのか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	階段があのけれど、奥を行けばしきり昇り下りできる構造をもうことができる。階段があのけれど、奥に行けばしきり昇り下りできる構造をもう能够在する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		土を軋こぎり、埃で作物を作ったり、成長の過程を体感できる。職員に対する開放感あふれで、奥を行けばしきり昇り下りできる構造をもう能够在する。職員がおもむろにいるが、児童特に自分で見てもらいたい。説明している。階段を昇る昇るなど、バリアフリー化とはちょっとしていないが、施設しない場に配慮している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		専門的支援をカードで実施したとき、本児が、周りを気にしてソワソワしていた様子があった。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		モニタリングをスタッフ全員で利用者一人一人に書いている。経過表を記入し、共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者同士が話せる場を提供している。（保護者会、どんぐり祭り）	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	月1ミーティングが行われ、情報を共有している。グループラインで意見を表出できるようしている。	職員の意見等を把握する機会は設けているが、十分に業務改善に繋げているとは言えない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		外部評価の有無をスタッフに周知していない。アンケートや評価等は実施しているが、集計等を業務改善に繋げる必要がある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	ホームページに公表しました	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	スタッフミーティングでの情報共有を行っている。	子どもの最善の利益を考慮した検討はなかなか難しい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	出来上がった支援計画書の確認や日々の経過表記入時に確認出来るようになっている。	計画については日々の活動をより具体的に共有できればよいと思う。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	利用後に経過表を記入している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		具体的に分かりやすいように設定できている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	チームで立案を行うことで幅が広がる。モニタリングをスタッフ全員で記入している。ミーティングで話し合い、決定している。実際の立案は先発管がやっている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	イレギュラーな場面の設定の導入ができる。適宜、「今日は○○してみよう」という取り組みがある。外遊びを交えながら、工夫している。児童に応じて活動内容など、相談している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		丁寧な聞き取り等の対応ができる。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	その都度、確認ができる。必要な記録は共有されている。特に時間を決めたり、毎日欠かさず集まるようなどはしていない。	職員間の打ち合わせは十分に時間が取れてないときもある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2		情報共有は行っているが、スタッフ全員での共有する機会を持った方が良いと思う。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		当番（担当）の曜日があり、書ける人が書き、必ず誰かが記入している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	モニタリングすることで気づくこともある。スタッフ全員でモニタリング用紙に記入している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		特性や個別の対応ができる。宿題後、個々にしたい事に取り組める環境になっている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	児発管が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	連携がされている。送迎時に共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	支援移行シートの作成や情報収集ができる。就学シート（サポートブック）などを作成している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイ・バイ等や助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	市の連絡会にてSVIに参会してもらい、事例検討を行っている。（1か月に1回）
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	4	公園に行った時など、地域の子ども同士の交流がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	市などで運営している研修等も、もっと積極的に参加したい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	定期的に必要に応じて面談を行っている。連絡帳にて共有を心掛けている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	情報提供は行っているが、ペアトレーニング等は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		定期的に保護者と面談している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		確認後、署名・捺印してもらっている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		随時、対応している。気軽に相談できるようになっている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	保護者会を開催した。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		ライン等で問い合わせがあったとしても、必ず電話や対面で説明、謝罪している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	4	日々の連絡帳で連絡している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		ホームページはあるが、日常的な情報がアップされていない。連絡の発行は望ましいか、SNS等を活用して発信することも大切だと思う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	公開することで、よりよい支援につながる。機会を設けていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	職員への周知は出来ている。策定し共有はしているが、訓練はできていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	3	6	動画視聴や防災センターへの外出を時々行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		「薬」お預かりの書類、処方箋を保管している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		食事、お薬の提供の時、その都度確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	7	3	必要な安全管理はされている。訓練は出来てないが、安全管理の周知はしている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	契約時に説明している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの記入、確認をしている。写真付きで作成している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	職員研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	契約時に説明している。
					必要なスタッフには出来ているが、全員に共有されているかどうかは分からない。